令和6年度 第12回理事会

日 時：令和7年3月7日（金）16:30～

場 所：森林総合研究所（つくば市）特別会議室

I. 議 題

1. 令和7年度計画の届出について（非公表） [企画・総務・森林保険担当理事]
2. 国立研究開発法人森林研究・整備機構組織及び事務分掌規程の一部改正について
（案）（非公表） [森林整備センター]

II. 報 告

1. 役員給与規程の一部改正について [総務部]
2. 職員給与規程の一部改正について [総務部]
3. 森林総合研究所における一般職員（大卒）の採用について
（令和7年度追加採用）（非公表） [総務部]
4. 令和7年度における森林整備センターの職員採用について（非公表）
[森林整備センター]
5. 森林整備センターの業務運営について（課題と対応方針）（非公表）
[森林整備センター]
6. 令和6年度 第2回 森林保険センター統合リスク管理委員会 審議概要について
（非公表） [森林保険センター]
7. 令和6年度 森林保険審査の第三者委員会審査概要 [森林保険センター]

III. その他

1. 今後の主な会議・行事予定について
2. 主要行事
3. 森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

役員給与規程の一部改正について

国の給与法改正が行われたことを踏まえ、以下のとおり令和7年4月1日に役員給与規程の一部改正を行う。

1. 改正の主な概要

(1) 地域手当

① 級地区分の変更

日立市10%→8%(令和7年度は9%)

② 異動保障期間の延長

異動後3年目は異動前支給割合の100分の60を支給

(2) 通勤手当

1箇月当たりの支給限度額の改正 55,000円→150,000円

(3) 期末特別手当の支給割合

6月期1.650月→1.675月

12月期1.700月→1.675月

2. 改正時期

令和7年4月1日

3. その他

交付金予算における人件費を巡る厳しい状況を踏まえ、令和7年4月1日から当分の間、理事長及び研究開発業務を担当する理事については、俸給、地域手当、広域異動手当及び期末特別手当は5%を減じて支給する。

また、令和7年4月1日から当分の間、地域手当の支給率の上限を16%とする。

なお、本措置の実施に伴い、令和7年1月からの減額措置は令和7年3月31日で終了する。

職員給与規程の一部改正について

国の給与法改正が行われたことを踏まえ、以下のとおり令和7年4月1日に職員給与規程の一部改正を行う。

1. 改正の主な概要

(1) 昇給区分の改正

一般職員8級以上(研究職員5級以上)について、新たな俸給体系の導入に伴う改定

- 昇給区分 A 8号俸→2号俸
B 6号俸→1号俸
C 3号俸→0号俸

(2) 扶養手当

① 配偶者に係る手当

- 一般職員7級以下(研究職員4級以下) 6,500円→0円(令和7年度は3,000円)
一般職員8級(研究職員5級) 3,500円→0円

② 子に係る手当

- 10,000円→13,000円(令和7年度は11,500円)

(3) 地域手当

① 級地区分の変更

② 異動保障期間の延長

- 異動後3年目は異動前支給率の100分の60を支給

(4) 単身赴任手当

- 新規採用に伴い単身赴任となった職員にも支給

(5) 通勤手当

- 1箇月当たりの支給限度額の改正 55,000円→150,000円

(6) 期末手当の支給割合

① 再雇用職員以外の職員

- 6月期1.225月→1.250月(特定管理職員1.025→1.050)
12月期1.275月→1.250月(特定管理職員1.075→1.050)

② 再雇用職員

- 6月期0.6875月→0.7000月
12月期0.7125月→0.7000月

③ 任期付研究員、特定任期付職員

- 6月期1.700月→1.725月
12月期1.750月→1.725月

(7) 勤勉手当の支給割合

① 再雇用職員以外の職員

6月期 1.025月 → 1.050月 (特定管理職員 1.225月 → 1.250月)

12月期 1.075月 → 1.050月 (特定管理職員 1.275月 → 1.250月)

② 再雇用職員

6月期 0.4875月 → 0.5000月

12月期 0.5125月 → 0.5000月

(8) 期末特別手当の支給割合

6月期 1.650月 → 1.675月

12月期 1.700月 → 1.675月

(9) 寒冷地手当

① 再雇用職員にも支給

② 支給地域の見直し

秋田市、長野市 → 支給地外 (令和8年度まで経過措置有り)

(10) 俸給表

一般職員3級以上 (研究職員3級以上) の号俸をカットして各級の初号の額を引き上げ

一般職員8級以上 (研究職員5級以上) の最高号俸の切り上げ

2. 改正時期

令和7年4月1日

Ⅱ－７

理事会資料
令和7年3月7日
森林保険センター

令和6年度 森林保険審査の第三者委員会審査概要

1 概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構が行う水源林造成事業の森林保険契約に係る損害評価事務について、外部有識者により損害実地調査、損害の認定及び保険金の額が妥当であるかについて審査を行った。

2 開催日時及び場所

日 時：令和7年2月21日（金）15：00～17：00

場 所：森林整備センター役員会議室

3 出席者

（委員）

東京農工大学大学院 農学研究院 准教授

白木 克繁

川村篤志法律事務所 弁護士

川村 篤志

（一社）日本森林技術協会 森林保全第二グループ長

宮下 洋平

（オブザーバー）

（国研）森林研究・整備機構 監事

渡邊 寿美恵

（森林保険センター）

森林保険センター 所長

馬場 敏郎

森林保険センター 保険業務部長

小椋 重信

（事務局）

森林保険センター リスク管理室長

海野 伸之

森林保険センター 保険業務課長

長谷川 太一

4 結果

- ・ 委員の互選により白木克繁氏を委員長に選出した。
- ・ 事務局より（ア）森林保険と水源林造成事業の概要、（イ）水源林造成事業の損害填補の状況及び事例について説明をした。
- ・ 令和6年2月から令和7年1月までに水源林造成事業に対して保険金支払のあった128件（うち、13件不填補）のうち、支払件数の多い水害、雪害、干害の中から保険金支払額が最大のもの各1事例と、委員が選出した3事例の計6事例について審査を行った。

その結果、損害実地調査、保険金の額等に関して指摘すべき問題点はなく、適正に処理されており妥当であるとされた。

Ⅲ-1

令和7年3月理事会資料
国立研究開発法人
森林研究・整備機構

今後の主な会議・行事予定について

日付	研究	整備	保険	行事名	場所等
3月8日	○			第79回立田山森のセミナー「シイタケの原木栽培を体験してみよう！」	九州支所 (主催：九州支所)

Ⅲ-2

令和7年3月理事会資料
 国立研究開発法人
 森林研究・整備機構

主要行事（令和7年2月7日～令和7年3月6日）

月 日	行 事 内 容	出 席 者
2月7日(金)	【共】理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
〃	【研】会計実地検査	
12日(水)	【研】入札監視委員会	企画・総務・森林保険担当理事
13日(木)	【研】気候変動適応に関する研究機関連絡会議	研究担当理事
14日(金)	【共】森林総合研究所等コンプライアンス推進委員会	企画・総務・森林保険担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事
〃	【共】ダイバーシティ推進委員会	企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事
17日(月)	【研】個人情報保護研修	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
18日(火)	【保】森林保険センターコンプライアンス推進委員会	企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事、森林保険センター所長
19日(水)	【研・育】森林総合研究所等リスク管理委員会	研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事
〃	【研】ダイバーシティ推進セミナー	理事長、各理事
〃	【整】森林整備センター監事監査	両監事
21日(金)	【育】令和6年度林木育種成果発表会	育種事業・森林バイオ担当理事
〃	【保】令和6年度森林保険審査の第三者委員会	森林保険センター所長、渡邊監事
〃	【整】森林整備センター監事監査	両監事
25日(火)	【共】ハラスメント防止研修	理事長、各理事
〃	【共】情報セキュリティ委員会	企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事
26日(水)	【保】森林保険センター監事監査	両監事
27日(木)	【研・育】研究推進評価会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事
28日(金)	【研・育】研究企画・運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、両監事
3月3日(月)	庁議	理事長
〃	【研】TRiSTARコンソーシアム総会	研究担当理事
4日(火)	【研】化学物質管理委員会	研究担当理事
5日(水)	【育】林木育種センター監事監査	育種事業・森林バイオ担当理事、両監事
〃	【研】森林産業コミュニティ・ネットワーク(FICoN)第12回ウェブ検討会「国産広葉樹資源の家具・内装材への利用拡大に向けて」	理事長、企画・総務・森林保険担当理事
6日(木)	【研】筑協ランチミーティング	研究担当理事

※【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事の略

森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

○ 前月以降公開済の研究成果

	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	過去1000年の天然秋田スギの衰退過程、堆積物中の花粉分析で解明	シチ コウジ 志知 幸治 四国支所	日本森林学会誌	2024/11	
2	本州の日本海側の山岳に分布するミヤマナラはミズナラから遺伝的に分化している	マツモト アサコ 松本 麻子 多摩森林科学園	Plant Species Biology	2024/05	
3	フォワーダの運転手の負担は前進時よりも後進時に増大	ナカタ テサ 中田 知沙 林業工学研究領域	Croatian Journal of Forest Engineering	2025/01	
4	ゴキブリ“専属”の寄生線虫、コガネムシから検出	カンザキ ナツミ 神崎 菜摘 関西支所	Nematology	2024/11	
5	外来アリ類防除に広く利用できる植物由来で生分解性の駆除剤を開発	スナムラ エリキ 砂村 栄力 森林昆虫研究領域	Journal of Applied Entomology	2024/12	プレスリリース
6	サクラ研究の新時代到来 ～オオシマザクラの完全ゲノム配列を公開～	ツルタ モミ 鶴田 燃海 樹木分子遺伝研究領域	Scientific Data	2025/02	プレスリリース
7	脊椎動物が土壌生物に与える影響について枠組みを提案：地上と地下の生物間相互作用の包括的な理解に向けて	フジイ サオリ 藤井 佐織 森林昆虫研究領域	Trends in Ecology and Evolution	2025/01	プレスリリース
8	線虫が昆虫を殺生する新たな手法を発見 ー生物防除資材の開発に期待ー	カンザキ ナツミ 神崎 菜摘 関西支所	Nematology	2025/02	プレスリリース
9	100年間蓄積されたデータで渡り鳥を守れ！ ーアジア最大級の鳥類ビッグデータの活用のすすめー	アオキ ダイスケ 青木 大輔 野生動物研究領域	Ornithological Science	2025/02	プレスリリース

○ 最近のシンポジウム・イベント

	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	森林技術国際展開支援事業 令和6年度国際セミナー「自然を活用した解決策としての森林管理：森林の防災・減災機能の発揮に向けて」	森林総合研究所 REDDプラス・海外森林防災研究開発センター	森林総合研究所	TKPガーデンシティ PREMIUM神保町＋オンライン配信	2月5日(水) 13:00～17:00	
2	森林講座「ヤナギを育ててカーボンニュートラルを目指す」	森林総合研究所 多摩森林科学園業務課	森林総合研究所	多摩森林科学園森の科学館(東京都八王子市)	2月13日(木) 13:15～15:00	
3	講演会「拡大するナラ枯れへの取り組みとこれからの広葉樹林管理」	森林総合研究所	森林総合研究所	森林総合研究所大会議室＋オンライン配信	2月19日(水) 9:00～14:10	